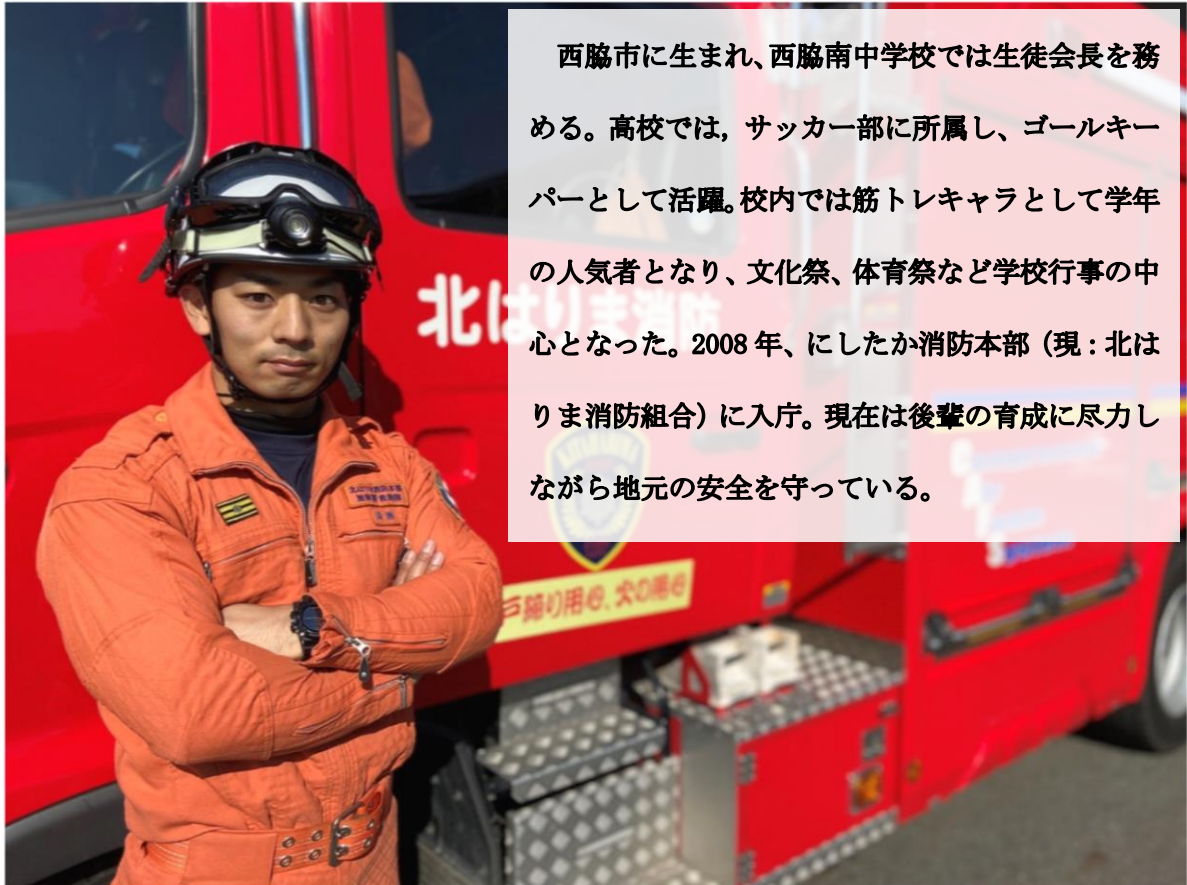


今日も地元の命を守る消防士

清瀬智也さん（59回生） 北はりま消防組合所属



西脇市に生まれ、西脇南中学校では生徒会長を務める。高校では、サッカー部に所属し、ゴールキーパーとして活躍。校内では筋トレキャラとして学年の人気者となり、文化祭、体育祭など学校行事の中心となった。2008年、にしたか消防本部（現：北はりま消防組合）に入庁。現在は後輩の育成に尽力しながら地域の安全を守っている。

「体を動かすことが好き」を仕事へ

学生時代から筋トレが大好きだったので、体を動かす仕事がしたいという思いから、警察官か消防士で進路については悩んでいました。そんなとき、消防に就職されたサッカー部の先輩から仕事について熱く語っていただき、消防士になることを決意しました。

進路選択の幅を広げるため西脇高校へ

勉強があまり得意ではなかったため、実業高校など他校への進学も考えましたが、両親と相談し、「進学が幅が広げられる高校へ」という理由で西脇高校を志望しました。学力の心配がありましたが、中学生の時に生徒会長をしていたことが入学のプラス材料だったように今は思います。

どんな学生生活だった？



部活動に学校行事、そして進路実現

一番思い出に残っていることは部活動です。サッカー部に入部するのですが、正直、友達作りがしたいという感覚で入部しました。すると周りの一生懸命に取り組む雰囲気にはびっくりしてしまいました。自分もレギュラーを掴むために中学の時はディフェンダーでしたが、思い切って、当時、手薄のポジションだったゴールキーパーに挑戦しました。同級生は本当に個性豊かで明るい子が多く、かけがえのない仲間と出会うことができました。

3年生になると、公務員試験の勉強を始めました。特に夏休みは筋トレ、シャトルランの練習、過去問をひたすら取り組んでいました。9月に試験があり、ちょうど体育祭の2日前にあったので大変だった記憶があります。体育大会では応援パフォーマンスの中心として取り組んだので、両立が大変でしたが、試験の合格とクラスのパフォーマンスの成功を取めることができ、充実した日々でした。

試験に合格して以降は、就職に向けての準備をしていました。何よりも体づくりのためにジムへ通っていました。また、友達との思い出をたくさんつくることができました。

消防士としてのスタート

4月から約半年間、消防学校へ入所しました。入所式後すぐに10kmの持久走があり、びっくりしました。ただ、各地から集まった仲間との交流があり、とても充実していました。

10月から「にしたか消防」へ、高卒の10代だったため、年齢の離れた先輩との人間関係に苦勞しました。それは社会人としてのマナーや言葉遣いは正しいかどうか不安だったからです。3年目ぐらいから仕事の内容も理解して徐々に魅力を感じはじめ、今では半分趣味のような感覚になるほど、仕事が好きになりました。



指導する立場になり

消防の魅力を後輩達へ

後輩を教える立場となり、やりがいもまた大きなものになりました。一般的には消防士は厳しい指導、根性論というイメージがついています。もちろん、それも大切かもしれませんが、一番大切なのは信頼関係を築くことです。なぜなら、命に関わる現場で連携がはかれないと意味がないからです。

指導する際に意識していることは、まず、自分が手本を見せること、次に実際にやらせてみることです。後輩がやってみて、その度に振り返りを行っています。堅苦しいものではなく、立ち話で「どうやった」のような感じです。後輩は失敗したことを多く反省点として挙げますが、そのときに良かった点を言うように心がけています。このような指導のなかで、信頼関係を築く工夫をしています。また、指導する際には、できることから徐々に負荷をかけるようにしています。例えば、訓練の際に、はじめは普通の格好で行い、うまくいけば徐々に装備を増やしていき、訓練を積み重ねます。最終的には防火服や呼吸器など総重量約20キロの装備で訓練ができるようになっていきます。

高校生へメッセージ

楽しむ術を身につけましょう

もともと人を笑わせることが大好きで、休み時間はどうすれば笑わせられるかを考えていました。これが結果としてコミュニケーション能力の向上につながったと思っています。さらに、決められたルールの中で高校生活を楽しむ術を身につけることは、今後の充実した生活を送る事へつながります。

今取り組んでいることを大切に

高校時代は小テスト、予習、課題提出が大変で苦労しました。しかし、これは仕事と同じで期限までにしっかり自分の仕事がこなせるかということです。今取り組んでいることを一生懸命取り組むことで、優先順位をつけて要領よく仕事に取り組む力を身につけることができます。



目標を持つこと

「とりあえず…」ではなく、しっかりとした目標を定めることが大切です。まずは「消防士になる」「〇〇大学に合格する」というような近いゴールを定めましょう。そして、大切なのが「どんな消防士になりたい」「〇〇大学でどんなことがしたい」というその先のゴールもしっかり定めましょう。そうすることで自分がブレなくなるからです。



18 歳から大人扱い

社会人としてのルールを

入所当時の自分が苦勞したことですが、もっと学生時代に社会人としてのルールとマナーを学びたかったと思っています。当時はどちらが上座か下座か、正しい言葉遣いか本当に悩んでいました。また、いろいろな保険のこと、資産運用などを学んでおきたかったと思っています。社会に出てから学んだのですが、高校生であっても大人として、このようなことを学ぶのは大切だと思います。

どんなことにも興味を持とう

昔からこうだからこうではなく「なんで？」という疑問を持つことが大切です。すると本当に正しい知識を身につけたり、より良い方法にたどり着けたりすることがあるからです。

消防の勤務について

12 日間のスケジュール

1	勤務	2	非番	3	勤務	4	非番	5	休み	6	休み
7	勤務	8	非番	9	勤務	10	非番	11	休み	12	休み

1 日のスケジュール



時間	内容
8:30 ~ 12:00	勤務
12:00 ~ 13:00	休憩
13:00 ~ 17:15	勤務
17:15 ~ 18:15	休憩
18:15 ~ 0:00	勤務
0:00 ~ 6:30	仮眠
6:30 ~ 8:30	勤務・交替